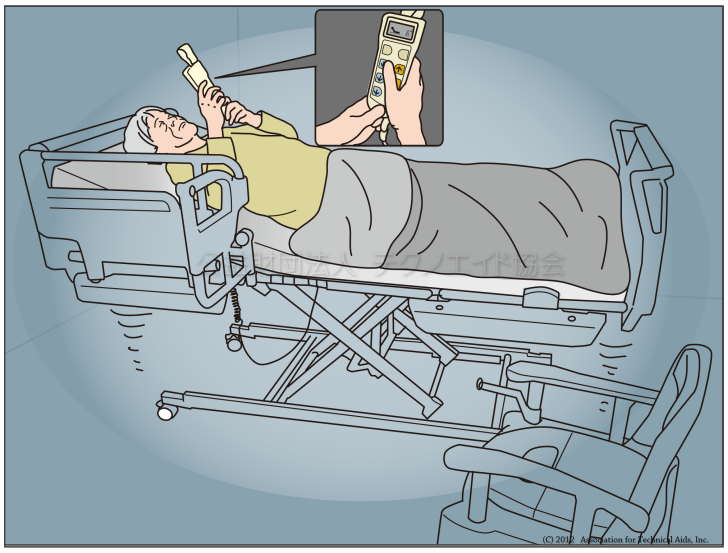
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：179
操作を誤りベッドの高さが上がってしまう

場面の説明

起き上がろうと思い、操作ボタンを押して頭側を上げているつもりだったが、誤操作をしていることに気づかず、ベッドの高さがあがってしまった



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作 夜間
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード(CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介護用のベッドは、ベッド上での介護や立ち上がりなど、目的に応じた高さを選べる利点がありますが、使い方を間違えると事故の原因にもなります。ベッドをご自身で操作する場合は十分な認知と判断能力を持っていることが必要です。利用者には操作させない場合には、手元スイッチを手の届かない場所に格納するなど、安全策を講じることが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：操作方法を理解していなかった
人：利用者が触れる位置に手元スイッチを置いていた
モノ：操作ボタンの配置がわかりづらい
モノ：手元スイッチに誤操作防止のためのロック機構がなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：179

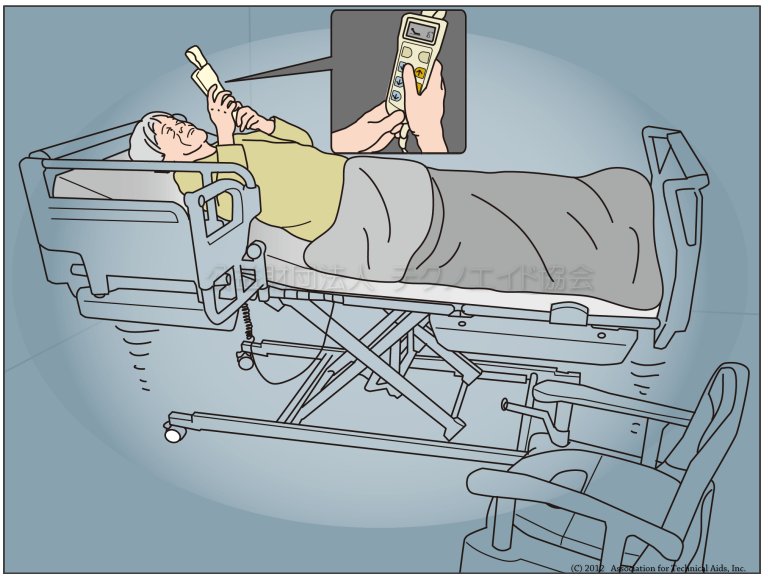
操作を誤りベッドの高さが上がってしまう

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

起き上がろうと思い、操作ボタンを押して頭側を上げているつもりだったが、誤操作をしていることに気づかず、ベッドの高さがあがってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.